

FUJITSU Workstation CELSIUS

CELSIUS H7510

BIOS セットアップメニュー一覧

Intel、インテル、Intel ロゴ、Thunderbolt、Thunderbolt ロゴは、アメリカ合衆国
および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。
NVIDIA、Quadroは、NVIDIA Corporationの登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright FUJITSU LIMITED 2020

BIOSセットアップメニュー詳細

BIOSセットアップのメニューについて説明しています。
BIOSセットアップのメニューは次のとおりです。

メニュー	説明
情報 (→P.3)	BIOSやワークステーション本体についての情報が表示されます。
システム (→P.3)	日時や言語、ドライブの機能などを設定します。
詳細 (→P.3)	CPUや内蔵デバイス、周辺機器などを設定します。
セキュリティ (→P.6)	パスワードなどのセキュリティ機能を設定します。
起動 (→P.7)	本ワークステーションの起動時の動作について設定します。
終了 (→P.8)	設定値の保存や読み込み、BIOSセットアップの終了などを行います。

重要

- ▶ BIOSセットアップの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。
あらかじめご了承ください。

POINT

- ▶ ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動すると、設定変更のできる項目が制限されます。制限された項目はグレーに表示されます。
ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動した場合に変更できる項目は次のとおりです。

メニュー		設定項目
システム		
システム時刻		
システム日付		
言語 (Language)		
ポイントティングデバイスサポート		
詳細		
ディスプレイ設定	NVIDIA(R) Optimus(TM) テクノロジー ^{注1}	
CPU設定	マルチコア	
	Intel(R) Speed Shiftテクノロジー	
各種設定	LANによるウェイクアップ	
	USBによるウェイクアップ ^{注1}	
	ハードウェア省電力機能	
	ハードウェア省電力機能： アイドル状態におけるCPU省電力 (AC)	

メニュー

設定項目	
ハードウェア省電力機能： アイドル状態におけるCPU省電力 (バッテリ)	
USB充電設定：	パソコン電源オフ時の動作
USB充電設定：	パソコン起動中の動作
FANコントロール	
USB Type-CポートリブリケーターのLANによるウェイクアップ	
Intel(R) Management Engine ^{注2} 設定	Intel(R) AMT Fast Call for Help ^{注2}
SOLコンソールタイプ ^{注2}	
イベントログ設定	イベントログの表示
セキュリティ	
ユーザー用パスワード設定	
ハードディスク	ドライブn：ユーザー用パスワード設定
セキュリティ	
終了	
変更を保存して終了する	
変更を保存せずに終了する	
変更を保存する	
変更を保存して電源を切る	

注1：Secured-core PCモデルは、本項目は表示されません。

注2：「Intel(R) AMT」が「使用する」設定時

情報メニュー

BIOSやワークステーション本体についての情報が表示されます。設定を変更することはできません。

設定項目	備考
型名	
カスタムメイド番号	
製造番号	
BIOS版数	
EC版数	
CPUタイプ	
全メモリ容量	
メモリスロット1	
メモリスロット2	
メモリスロット3	
メモリスロット4	
MACアドレス	
バススルーチ MACアドレス	
UUID	
パネルID	

システムメニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
システム時刻 00:00:00～23:59:59	【Tab】キー／【Enter】キー……右の項目に移動 【Shift】+【Tab】キー……左の項目に移動
システム日付 01/01/2000～12/31/2099	【Tab】キー／【Enter】キー……右の項目に移動 【Shift】+【Tab】キー……左の項目に移動
言語 (Language) □English (US) ■日本語 (JP)	
ポインティングデバイスサポート □使用しない ■使用する	

詳細メニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
起動設定	
高速起動 □使用しない ■使用する	
ネットワーク起動 □使用しない ■使用する	
強制ネットワーク起動 ■使用しない □使用する	
ネットワーク起動プロトコル □IPv4 □IPv6 ■IPv4 then IPv6 □IPv6 then IPv4	
ドライブ構成	
ドライブ0 □使用しない ■使用する	
ドライブ1 □使用しない ■使用する	
ドライブ2 □使用しない ■使用する	
ドライブ3 □使用しない ■使用する	
ドライブ4 □使用しない ■使用する	
キーボード設定	
起動時のNumlock設定 ■オン □オフ	
ディスプレイ設定	OS起動後はOSの設定に従う
NVIDIA(R) Optimus(TM) テクノロジー □使用しない ■使用する	「使用しない」に設定した場合は、NVIDIAグラフィックスでの出力になります。

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
その他の内蔵デバイス設定	
シリアルATAコントローラー □使用しない ■使用する	
Audioコントローラー □使用しない ■使用する	
スピーカー □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに表示 ♦「Audioコントローラー」が「使用する」
マイク □使用しない ■使用する	
内蔵LANデバイス □使用しない ■使用する	
無線LAN／Bluetooth(R) □使用しない ■使用する □無線LANのみ	
指紋センサー □使用しない ■使用する	搭載機種のみ表示
手のひら静脈センサー □使用しない ■使用する	搭載機種のみ表示
内蔵カメラ □使用しない ■使用する	
SDスロット □使用しない ■使用する	
スマートカード □使用しない ■使用する	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
Thunderbolt(TM) デバイス □使用しない ■使用する	
Thunderbolt(TM) ブートサポート □使用しない ■使用する	<ul style="list-style-type: none"> 下記の項目が次のように設定されているときに表示 <ul style="list-style-type: none"> ♦「Thunderbolt(TM) デバイス」が「使用する」 本設定を「使用する」にした場合、USB-TypeC コネクタにデバイスを接続したままワークステーションを再起動すると、デバイスが認識されないことがある。 その場合は、一度デバイスを取り外して接続し直す。
セキュリティレベル ■No Security □User Authorization □Secure Connect □Display Port only □USB Docking only	下記の項目が次のように設定されているときに表示 ♦「Thunderbolt(TM) デバイス」が「使用する」
強制電源オン ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに表示 ♦「Thunderbolt(TM) デバイス」が「使用する」
CPU設定	
マルチコア □使用しない ■使用する	
HTテクノロジー □使用しない ■使用する	
Intel(R) Speed Shift テクノロジー □使用しない ■使用する	
Virtualization Technology □使用しない ■使用する	
Intel(R) VT-d □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「Virtualization Technology」が「使用する」
Intel(R) TXT □使用しない □使用する	<ul style="list-style-type: none"> Secured-core PCモデルの初期値は「使用する」、 Secured-core PC非対応モデルの初期値は「使用しない」 下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> ♦「Virtualization Technology」が「使用する」 ♦「Intel(R) VT-d」が「使用する」 ♦「セキュリティチップ」が「使用する」
Intel(R) SGX □使用しない □使用する ■ソフトウェア制御	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
USB設定	
USBポート □使用しない ■使用する	
各種設定	
LANによるウェイクアップ ■使用しない □使用する	「使用する」設定時は、消費電力が増加するためACアダプタ使用推奨 ※注2
バッテリ運用時 □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「LANによるウェイクアップ」が「使用する」
LANによるリジューム □AC接続時のみ ■常に有効	
MACアドレスパススルー ■使用しない □使用する	
USBによるウェイクアップ ■使用しない □使用する	Secured-core PCモデルは、本項目は表示されません。
ハードウェア省電力機能 □使用しない ■使用する	
アイドル状態におけるCPU省電力（AC） ■省エネルギー □低電力 □標準	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「ハードウェア省電力機能」が「使用する」
アイドル状態におけるCPU省電力（バッテリ） ■長時間稼動 □低電力 □標準	
USB充電設定	
パソコン電源オフ時の動作 ■充電しない □充電する（AC/バッテリ） □充電する（ACのみ）	
パソコン起動中の動作 □通常充電 ■急速充電	
FANコントロール ■通常 □サイレント	サイレントモードでは、CPUパフォーマンスを制限し、FANの回転数を抑制する
USB Type-CポートリブリケーターのLANによるウェイクアップ ■使用しない □使用する	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
Intel(R) Management Engine設定	
ME版数	
Intel(R) AMT ■使用しない □使用する	「Intel(R) ME設定のクリア」実行後は、「使用しない」に設定される
Intel(R) MEセットアップ >Enter	・再起動後にME設定メニューに入る ・下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「Intel(R) AMT」が「使用する」
USBプロビジョニング ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「Intel(R) AMT」が「使用する」
Intel(R) AMT Fast Call for Help >Enter	・再起動後に確認メッセージを表示 ・管理サーバーが設定されていない場合は使用禁止 ・下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「Intel(R) AMT」が「使用する」
Intel(R) ME設定のクリア >Enter	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「Intel(R) AMT」が「使用する」
SOLコンソールタイプ □PC-ANSI □VT-100+ ■VT-UTF8	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「Intel(R) AMT」が「使用する」
イベントログ設定	
イベントログ領域の状態	
イベントログ内容の状態	
イベントログの表示 >Enter	
イベントログ □保存しない ■保存する	
イベントログの消去 >Enter	
イベントログのマーク >Enter	現在までのイベントログを既読に設定し、以降表示されないようにする

注1：接続されているデバイスによっては、「使用する」に設定すると本ワークステーションが起動しなくなる場合があります。その場合は、デバイスを取り外して再起動してください。

注2：Windowsの高速スタートアップを無効にしてください。詳しくは、『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「Wake on LANを有効にする」をご覧ください。

セキュリティメニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
管理者用パスワード	設定状況を表示
ユーザー用パスワード	設定状況を表示
管理者用パスワード設定 > Enter	⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ユーザー用パスワード設定 > Enter	「管理者用パスワード」設定時に設定可能 ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ユーザー用パスワード文字数 0~32	「管理者用パスワード」設定時に設定可能
起動時のパスワード ■使用しない □最初のみ □毎回	「管理者用パスワード」設定時に設定可能
自動ウェイクアップ時 ■使用しない □使用する	・ LAN／タイマーなどによる自動ウェイクアップ時のパスワード要求有無を設定 ・ 下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「起動時のパスワード」が「最初のみ」または「毎回」
取外し可能なディスクからの起動制限 ■使用しない □使用する	「管理者用パスワード」設定時に設定可能
システムファームウェア更新機能 □使用しない ■使用する □使用する（制限付き）	※注1
デバイスファームウェア更新機能 ■使用する □使用する（制限付き）	
起動メニュー □使用しない ■使用する	【F12】キーによる起動メニュー呼び出しの設定
ハードディスクセキュリティ	
ドライブ0	設定状況を表示
マスターパスワード設定 > Enter	ハードディスクの「ユーザーパスワード」設定時に設定可能 ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ユーザーパスワード設定 > Enter	⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
ドライブ1	設定状況を表示
	マスターパスワード設定 > Enter
ドライブ2	ハードディスクの「ユーザーパスワード」設定時に設定可能 ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
	ユーザーパスワード設定 > Enter
ドライブ3	設定状況を表示
	マスターパスワード設定 > Enter
ドライブ4	ハードディスクの「ユーザーパスワード」設定時に設定可能 ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
	ユーザーパスワード設定 > Enter
起動時のパスワード入力 □使用しない ■使用する	設定にかかわらず再起動時は要求なし
所有者情報	
	所有者情報
所有者情報設定 > Enter	所有者情報設定

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
TPM (セキュリティチップ) 設定	
セキュリティチップデバイス TPM 2.0	
セキュリティチップ □使用しない ■使用する	設定変更は再起動後に有効
セキュリティチップのクリア > Enter	クリアは再起動後に実行
セキュアブート設定	
セキュアブート	設定状況を表示 ※注2
署名情報の保護	設定状況を表示
署名情報の状態	設定状況を表示
セキュアブート機能 □使用しない ■使用する	
署名情報のカスタマイズ > Enter	
署名情報の初期化 > Enter	
3rd-party UEFI CAの削除 > Enter	
DBの管理	
署名の登録	
署名の削除	
DB署名リスト	
DBXの管理	
署名の登録	
署名の削除	
DBX署名リスト	

注1：「使用する（制限付き）」に設定したときは、Windows UpdateによるBIOS更新機能は利用できません。

注2：Windows 10（UEFIモード）以外のOSから起動すると、「起動可能なデバイスが見つかりませんでした」、「セキュアブートに失敗しました。**アクセス拒否**」などのメッセージが表示されることがあります。

また、起動メニューから起動デバイスを選択したときに、「選択したデバイスから起動できませんでした」と表示されたり起動メニューが再表示されることがあります。

これらの現象が起きた場合は、「セキュアブート機能」を「使用しない」に設定してからOSを起動してください。

起動メニュー

設定項目	備考
起動デバイスの優先順位	⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「起動デバイスを変更する」を参照
Windows Boot Manager	
Drive0 HDD	
Drive1 HDD	
Drive2 HDD	
Drive3 NVMe	
Drive4 NVMe	
NETWORK	
USB HDD ^{注1}	
USB CD/DVD	
Thunderbolt HDD	

注1：USB-TypeCコネクタにUSBメモリなどを接続したままワークステーションを起動すると、起動メニューに起動デバイスが表示されますが、本デバイスからは起動できません。

本デバイスで起動したい場合は、詳細メニューの「Thunderbolt(TM) ブートサポート」を「使用する」に設定してから使用してください。

終了メニュー

設定項目	備考
変更を保存して終了する	
変更を保存せずに終了する	※注1
標準設定値を読み込む	次の項目は対象外 ・システム時刻 ・システム日付 ・言語設定 ・管理者用パスワード ・ユーザー用パスワード ・ハードディスクパスワード ・所有者情報設定 ・セキュリティチップのクリア ・セキュアブート機能 ⇨『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「ご購入時の設定に戻す」を参照
変更前の値を読み込む	
変更を保存する	
変更を保存して電源を切る	

注1：確認画面で「はい」を選択すると、変更が保存されてしまいます。「いいえ」を選択してください。